

## 公開情報 2014 年 1 月～12 月 年報(全集計対象医療機関)

### 院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

#### 【全入院患者部門サーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、全入院患者を対象として主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌感染症の発生状況を明らかにすることである。

サーベイランスの対象は、我が国において主要な薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）、多剤耐性緑膿菌（MDRP）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）、多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）とし、これら 6 種の薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数および罹患率を算出する。また性別、年齢別、検体別、感染症名別、診療科別の集計も行い、医療機関の薬剤耐性菌による感染症発症状況のベンチマークとなる情報を提供する。

#### 【図表】

1. データ提出医療機関\*数
2. 新規感染症患者数と罹患率
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

#### 【解説】

##### 1. データ提出医療機関数

2014 年年報（2014 年 1 月～12 月）の集計対象医療機関数は 685 医療機関であり、前年より 134 医療機関増加した。これは国内 8540 医療機関の 8.0%を占めていた。

## 公開情報 2014 年 1 月～12 月 年報(全集計対象医療機関)

### 院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

#### 2. 新規感染症患者数と罹患率

対象とする薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数の合計は 16,993 人であった。このうち MRSA は 16,081 人 (94.6%) を占め、次いで PRSP 742 人 (4.4%)、MDRP 160 人 (0.9%)、MDRA 5 人 (0.03%)、VRE 5 人 (0.03%) であった。

各薬剤耐性菌の新規感染症患者数を総入院患者数で除した罹患率は、MRSA では 3.39%、PRSP 0.16%、MDRP 0.03% であった。

なお、VRSA による感染症の報告はなかった。

#### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

新規感染症患者は男性が多く、薬剤耐性菌別の男女比は、MRSA では 1.9 : 1、PRSP 1.8 : 1、MDRP 2.5 : 1 であった。

#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳

新規感染症患者の年齢分布は、70 歳代以上が全体の 67.9% を占め、高齢者で多く報告された。薬剤耐性菌別では、MRSA、PRSP、MDRP はいずれも高齢者が最も多かったものの、PRSP では 23.2% が 10 歳未満であった。

#### 5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳

新規感染症患者において該当する薬剤耐性菌が分離された検体は、呼吸器系検体が 45.1% と最も多くを占め、中でも PRSP は 88.3% が呼吸器系検体であった。MRSA でも同様に呼吸器系検体が 43.3% と最も多かったが、MDRP では尿検体が 38.1% と最も多かった。

#### 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳

新規感染症患者の感染症名は、肺炎が最も多く 40.0% を占めた。中でも PRSP では肺炎が 78.4%、肺炎以外の呼吸器感染症が 8.1% であった。MRSA では肺炎が 38.4% と最も多く、次いで菌血症 15.8%、皮膚・軟部組織感染 13.7%、手術創感染 10.9% の順で報告された。MDRP では尿路感染症が 36.9% と最も多く、次いで肺炎が 29.4% であった。

## 公開情報 2014 年 1 月～12 月 年報(全集計対象医療機関)

### 院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

#### 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

新規感染症患者の診療科別割合は、内科系 45.8%、外科系 44.0%、小児科系 3.5%であった。耐性菌別では、MRSA は内科系 45.5%、外科系 45.5%、MDRP は内科系 47.5%、外科系 41.3%、であった。一方、PRSP は内科系 51.8%、次いで小児科系 22.5%であり、外科系は 11.6%と少なかった。

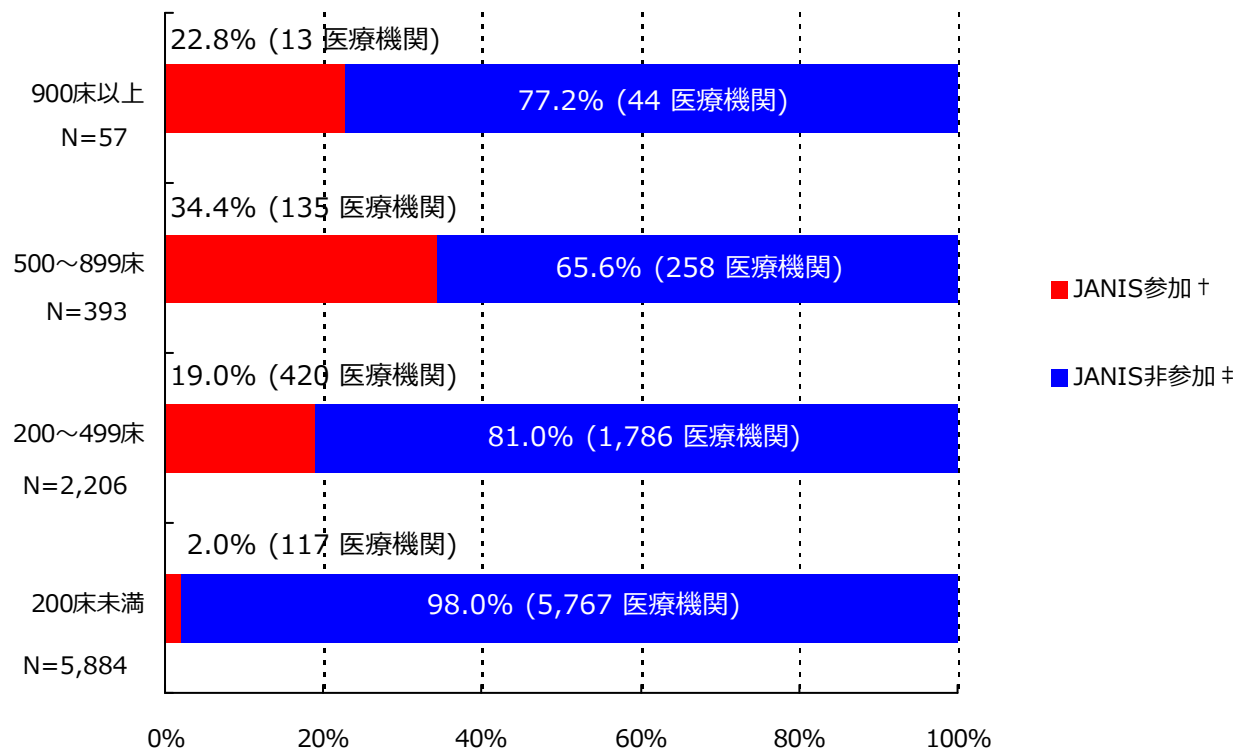
2014 年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の 11 医療機関は集計対象外とした。下記の基準に該当する医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 7 医療機関についても集計から除外した。このため、年報の結果は月報や四半期報の結果とは異なる場合がある。

#### データの精度管理の条件

- 年間を通じて MRSA 感染症患者の報告が無い。
- VISA、VRE、MDRA の報告が年間 1 件以上ある。
- MRSA、MDRP、PRSP の罹患率が高く逸脱している（極値）。

公開情報 2014年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

1. データ提出医療機関\*数(685医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2014年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2013年 全国医療機関数¶) - (2014年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2013年 全国医療機関数¶	2014年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	57	13 ( 22.8%)
500～899床	393	135 ( 34.4%)
200～499床	2,206	420 ( 19.0%)
200床未満	5,884	117 ( 2.0%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	8,540	685 ( 8.0%)

¶平成25年医療施設（動態）調査を参照した。

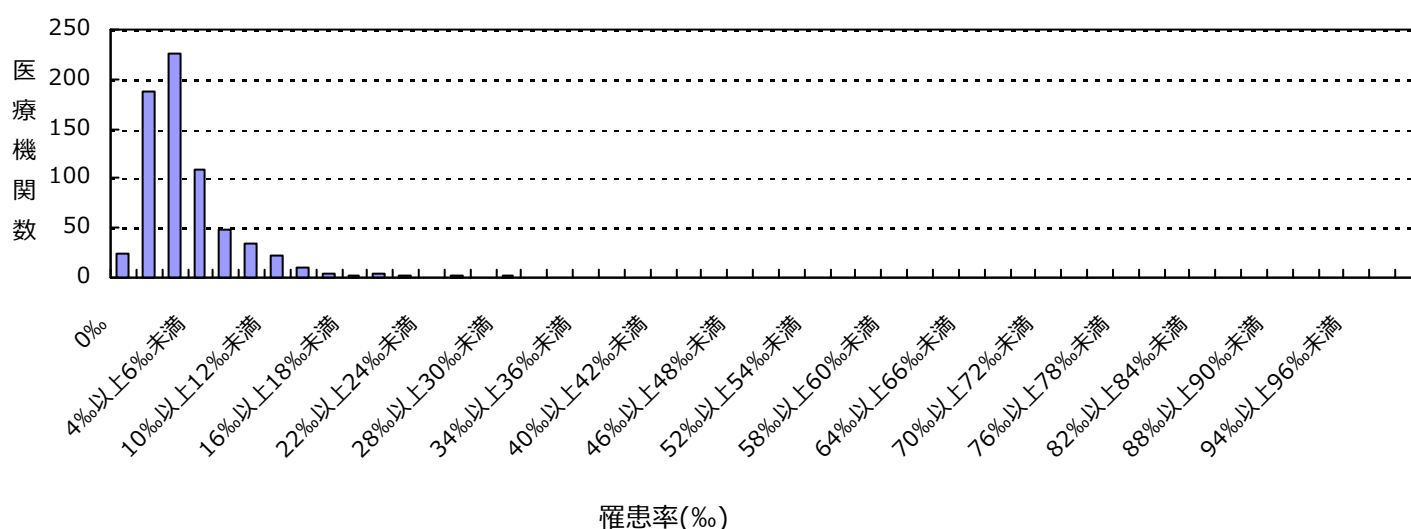
# 公開情報 2014年1月～12月 年報(全集計対象医療機関) 院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	4,749,180	353	16,081	3.39%	0.00 3.03 90.46   中

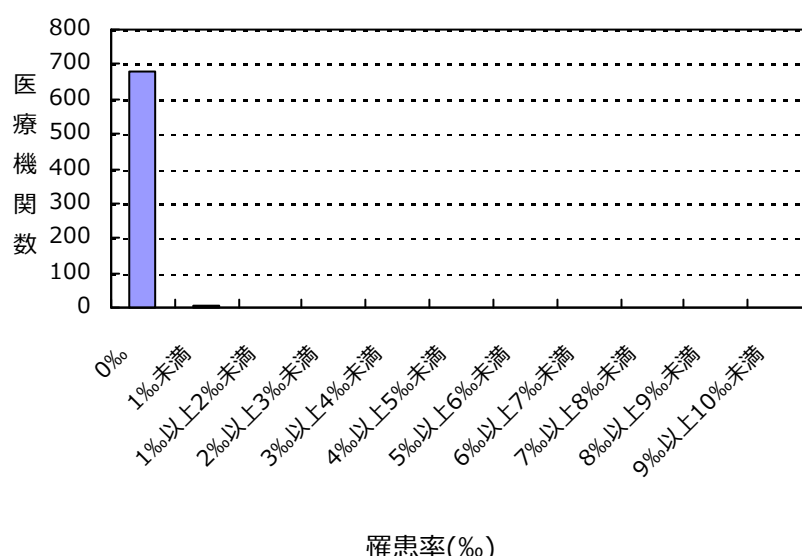
集計対象医療機関の罹患率(N=685)



### バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	4,749,180	0	5	0.00%	0.00 0.00 0.52 

集計対象医療機関の罹患率(N=685)



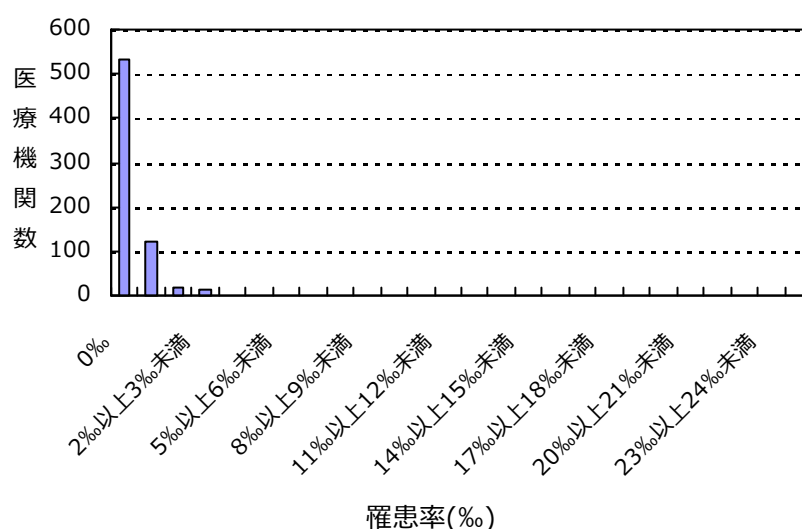
公開情報 2014年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	4,749,180	1	742	0.16%	0.00 0.00 11.05 H

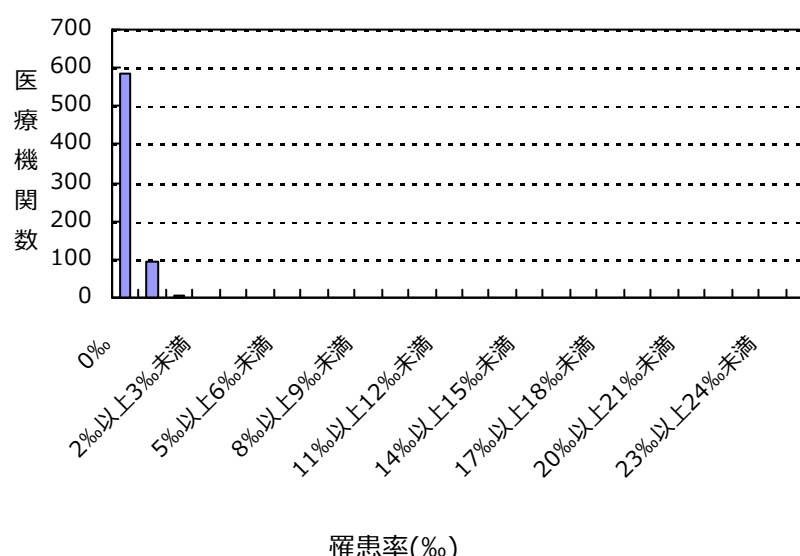
集計対象医療機関の罹患率(N=685)



### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	4,749,180	8	160	0.03%	0.00 0.00 10.70 H

集計対象医療機関の罹患率(N=685)



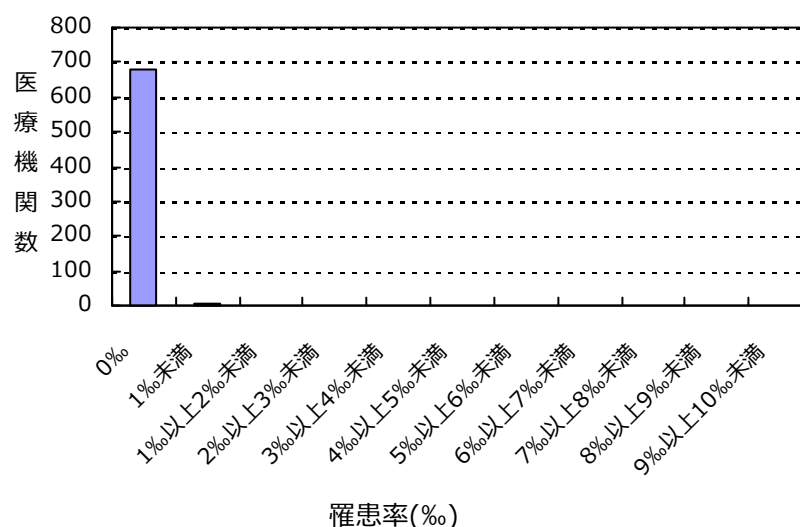
公開情報 2014年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRA	4,749,180	1	5	0.00‰	0.00 0.00 1.58

集計対象医療機関の罹患率(N=685)



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

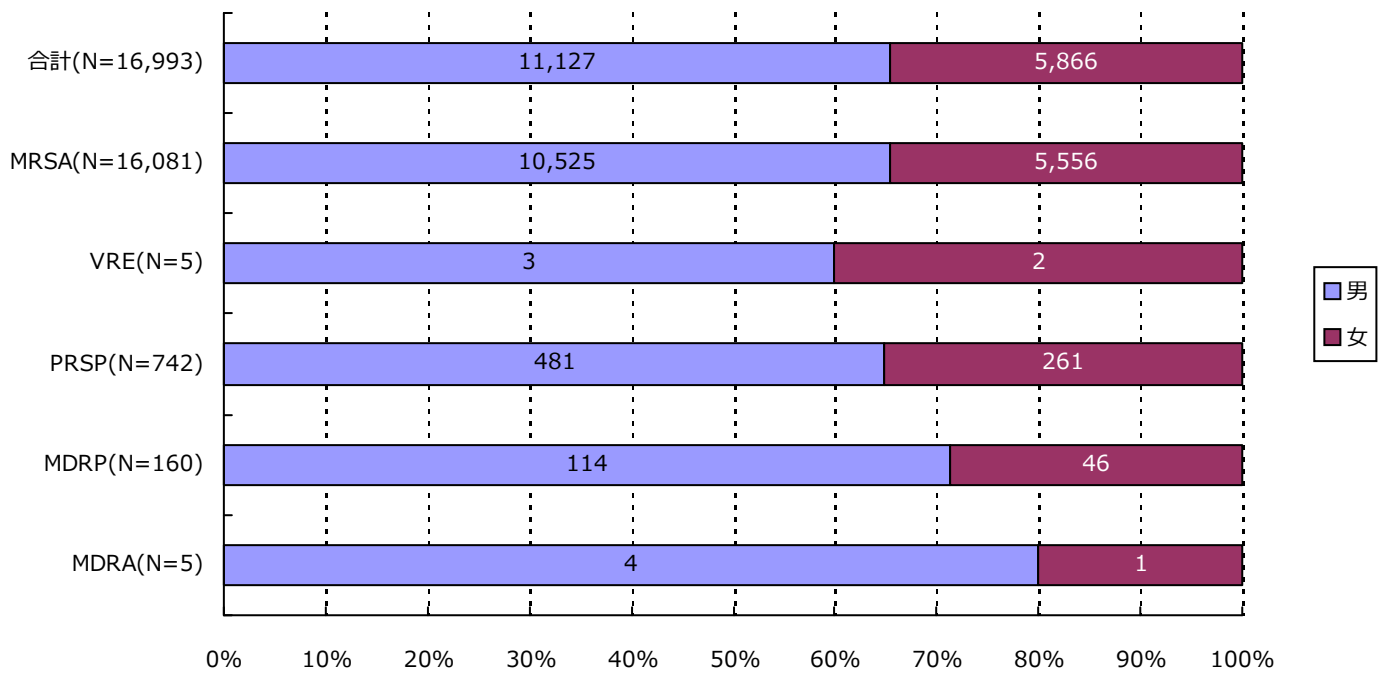
継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

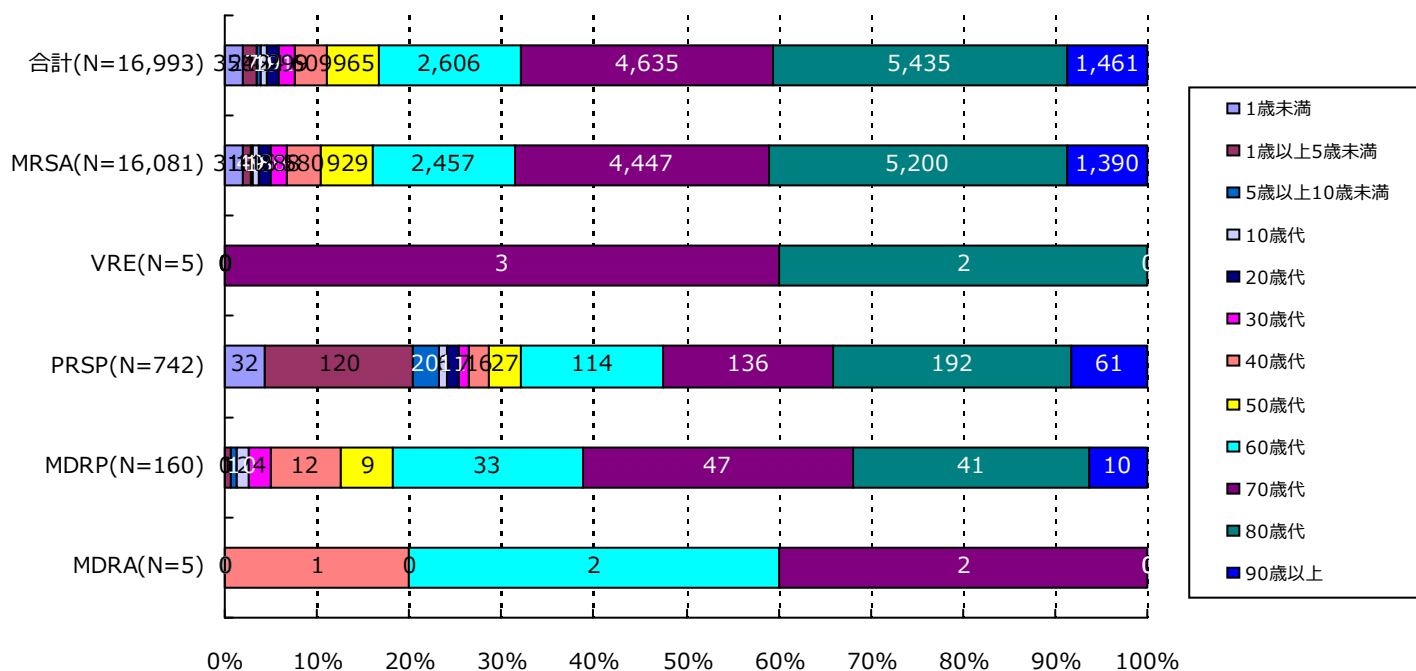


### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
男	11,127 ( 65.5%)	10,525 ( 65.4%)	0 ( - )	3 ( 60.0%)	481 ( 64.8%)	114 ( 71.3%)	4 ( 80.0%)
女	5,866 ( 34.5%)	5,556 ( 34.6%)	0 ( - )	2 ( 40.0%)	261 ( 35.2%)	46 ( 28.8%)	1 ( 20.0%)
合計	16,993	16,081	0	5	742	160	5

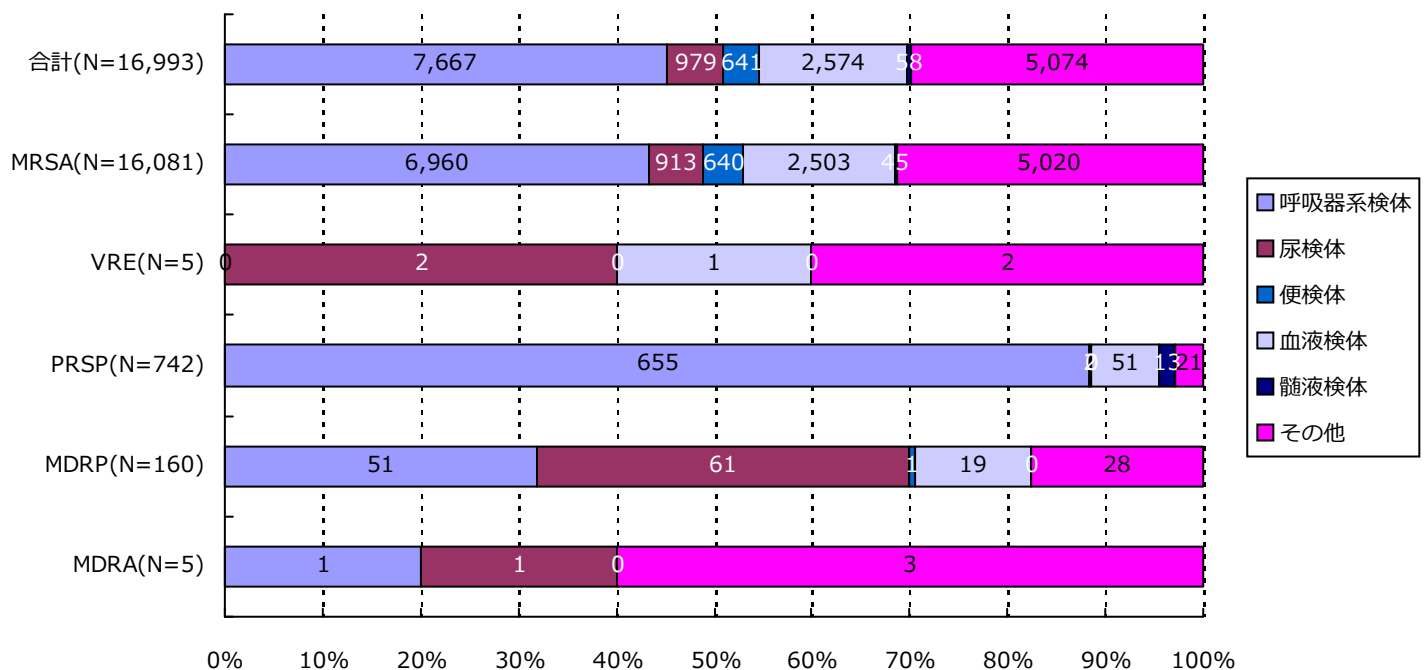
#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
1歳未満	350 ( 2.1%)	318 ( 2.0%)	0 ( -)	0 ( -)	32 ( 4.3%)	0 ( -)	0 ( -)
1歳以上5歳未満	248 ( 1.5%)	127 ( 0.8%)	0 ( -)	0 ( -)	120 ( 16.2%)	1 ( 0.6%)	0 ( -)
5歳以上10歳未満	70 ( 0.4%)	49 ( 0.3%)	0 ( -)	0 ( -)	20 ( 2.7%)	1 ( 0.6%)	0 ( -)
10歳代	124 ( 0.7%)	116 ( 0.7%)	0 ( -)	0 ( -)	6 ( 0.8%)	2 ( 1.3%)	0 ( -)
20歳代	191 ( 1.1%)	180 ( 1.1%)	0 ( -)	0 ( -)	11 ( 1.5%)	0 ( -)	0 ( -)
30歳代	299 ( 1.8%)	288 ( 1.8%)	0 ( -)	0 ( -)	7 ( 0.9%)	4 ( 2.5%)	0 ( -)
40歳代	609 ( 3.6%)	580 ( 3.6%)	0 ( -)	0 ( -)	16 ( 2.2%)	12 ( 7.5%)	1 ( 20.0%)
50歳代	965 ( 5.7%)	929 ( 5.8%)	0 ( -)	0 ( -)	27 ( 3.6%)	9 ( 5.6%)	0 ( -)
60歳代	2,606 ( 15.3%)	2,457 ( 15.3%)	0 ( -)	0 ( -)	114 ( 15.4%)	33 ( 20.6%)	2 ( 40.0%)
70歳代	4,635 ( 27.3%)	4,447 ( 27.7%)	0 ( -)	3 ( 60.0%)	136 ( 18.3%)	47 ( 29.4%)	2 ( 40.0%)
80歳代	5,435 ( 32.0%)	5,200 ( 32.3%)	0 ( -)	2 ( 40.0%)	192 ( 25.9%)	41 ( 25.6%)	0 ( -)
90歳以上	1,461 ( 8.6%)	1,390 ( 8.6%)	0 ( -)	0 ( -)	61 ( 8.2%)	10 ( 6.3%)	0 ( -)
合計	16,993	16,081	0	5	742	160	5

公開情報 2014年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳

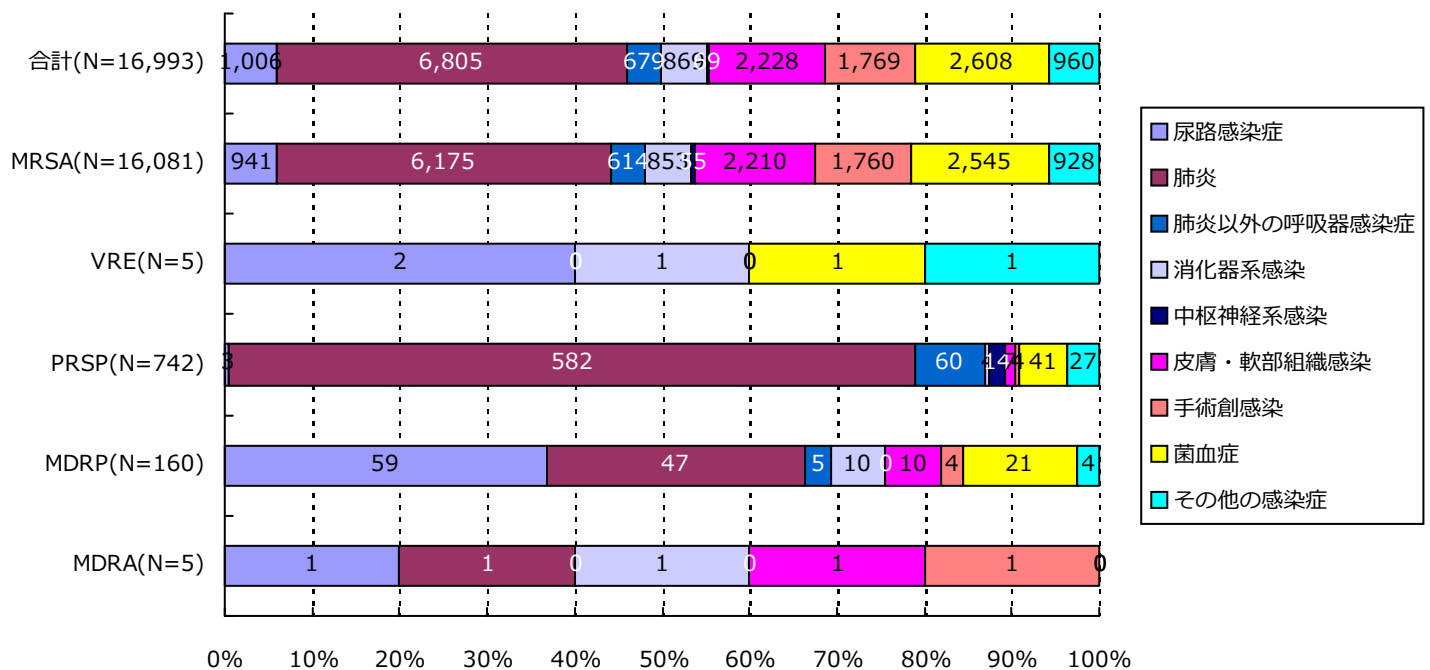


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
呼吸器系	7,667 ( 45.1% )	6,960 ( 43.3% )	0 ( - )	0 ( - )	655 ( 88.3% )	51 ( 31.9% )	1 ( 20.0% )
尿検体	979 ( 5.8% )	913 ( 5.7% )	0 ( - )	2 ( 40.0% )	2 ( 0.3% )	61 ( 38.1% )	1 ( 20.0% )
便検体	641 ( 3.8% )	640 ( 4.0% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 0.6% )	0 ( - )
血液検体	2,574 ( 15.1% )	2,503 ( 15.6% )	0 ( - )	1 ( 20.0% )	51 ( 6.9% )	19 ( 11.9% )	0 ( - )
髄液検体	58 ( 0.3% )	45 ( 0.3% )	0 ( - )	0 ( - )	13 ( 1.8% )	0 ( - )	0 ( - )
その他	5,074 ( 29.9% )	5,020 ( 31.2% )	0 ( - )	2 ( 40.0% )	21 ( 2.8% )	28 ( 17.5% )	3 ( 60.0% )
合計	16,993	16,081	0	5	742	160	5

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

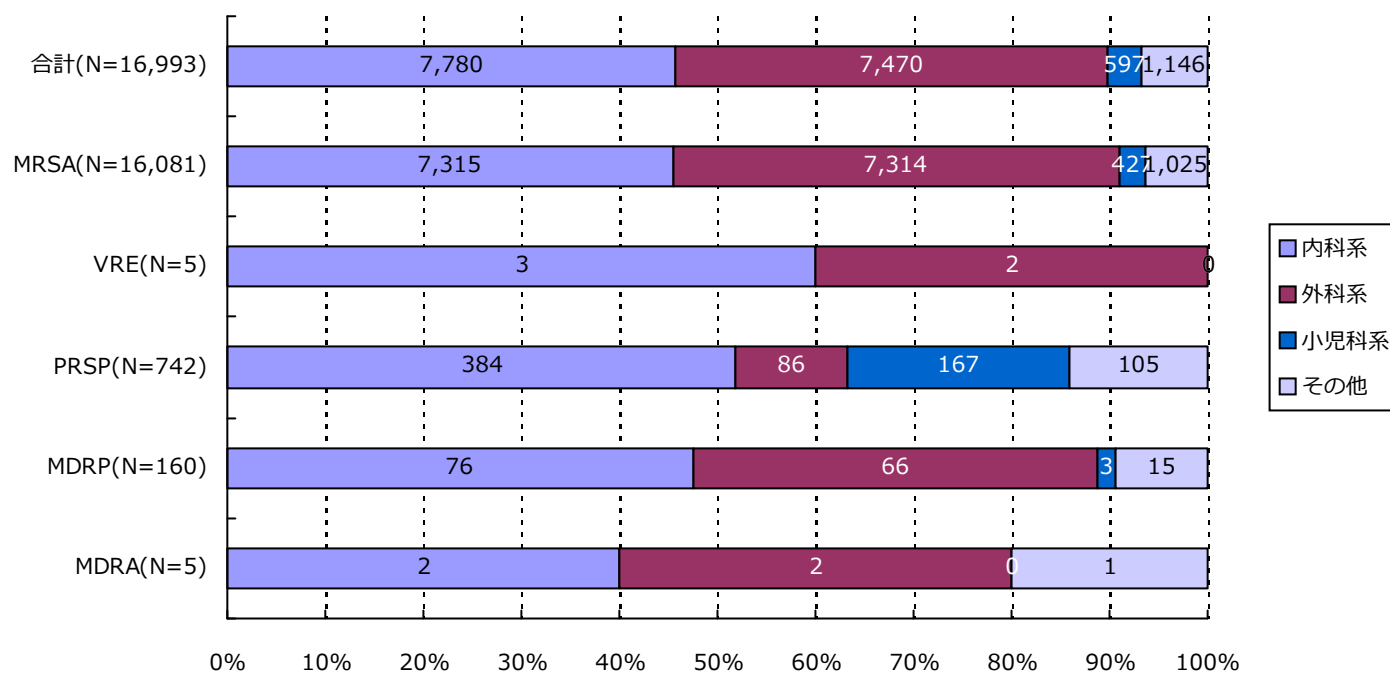
公開情報 2014年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
尿路	1,006 ( 5.9% )	941 ( 5.9% )	0 ( - )	2 ( 40.0% )	3 ( 0.4% )	59 ( 36.9% )	1 ( 20.0% )
肺炎	6,805 ( 40.0% )	6,175 ( 38.4% )	0 ( - )	0 ( - )	582 ( 78.4% )	47 ( 29.4% )	1 ( 20.0% )
肺炎以外	679 ( 4.0% )	614 ( 3.8% )	0 ( - )	0 ( - )	60 ( 8.1% )	5 ( 3.1% )	0 ( - )
消化器系	869 ( 5.1% )	853 ( 5.3% )	0 ( - )	1 ( 20.0% )	4 ( 0.5% )	10 ( 6.3% )	1 ( 20.0% )
中枢神経系	69 ( 0.4% )	55 ( 0.3% )	0 ( - )	0 ( - )	14 ( 1.9% )	0 ( - )	0 ( - )
皮膚・軟部	2,228 ( 13.1% )	2,210 ( 13.7% )	0 ( - )	0 ( - )	7 ( 0.9% )	10 ( 6.3% )	1 ( 20.0% )
手術創	1,769 ( 10.4% )	1,760 ( 10.9% )	0 ( - )	0 ( - )	4 ( 0.5% )	4 ( 2.5% )	1 ( 20.0% )
菌血症	2,608 ( 15.3% )	2,545 ( 15.8% )	0 ( - )	1 ( 20.0% )	41 ( 5.5% )	21 ( 13.1% )	0 ( - )
その他	960 ( 5.6% )	928 ( 5.8% )	0 ( - )	1 ( 20.0% )	27 ( 3.6% )	4 ( 2.5% )	0 ( - )
合計	16,993	16,081	0	5	742	160	5

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
内科系	7,780 ( 45.8%)	7,315 ( 45.5%)	0 ( -)	3 ( 60.0%)	384 ( 51.8%)	76 ( 47.5%)	2 ( 40.0%)
外科系	7,470 ( 44.0%)	7,314 ( 45.5%)	0 ( -)	2 ( 40.0%)	86 ( 11.6%)	66 ( 41.3%)	2 ( 40.0%)
小児科系	597 ( 3.5%)	427 ( 2.7%)	0 ( -)	0 ( -)	167 ( 22.5%)	3 ( 1.9%)	0 ( -)
その他	1,146 ( 6.7%)	1,025 ( 6.4%)	0 ( -)	0 ( -)	105 ( 14.2%)	15 ( 9.4%)	1 ( 20.0%)
合計	16,993	16,081	0	5	742	160	5

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	
	循環器内科	
	神経内科	
	呼吸器内科	
	消化器内科	
	胃腸科	
	内分泌・代謝内科	
	腎臓内科	
	糖尿病内科	
	アレルギー・膠原病内科	
	膠原病内科	
	アレルギー内科	
	リウマチ内科	
	血液内科	
	感染症内科	
	老人内科	
	心療内科	
	その他	性病科
		神経科
精神科		
放射線科		
総合診療部		
救急部		
救急・集中治療部		
集中治療部(ICU)		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		
内視鏡科		
透析科		
理学療法・リハビリテーション科		
理学療法科		
リハビリテーション科		
麻酔科		
その他		

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
歯科口腔外科	
小児科系	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

## 院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 【全入院患者部門サーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、全入院患者を対象として主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌感染症の発生状況を明らかにすることである。

サーベイランスの対象は、我が国において主要な薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）、多剤耐性緑膿菌（MDRP）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）、多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）とし、これら 6 種の薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数および罹患率を算出する。また性別、年齢別、検体別、感染症名別、診療科別の集計も行い、医療機関の薬剤耐性菌による感染症発症状況のベンチマークとなる情報を提供する。

## 【図表】

1. データ提出医療機関\*数
2. 新規感染症患者数と罹患率
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

## 【解説】

1. データ提出医療機関数

病床規模が 200 床以上の 2014 年年報（2014 年 1 月～12 月）集計対象医療機関数は 568 医療機関であった。これは国内 2,656 医療機関の 21.4%を占めていた。

## 院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

### 2. 新規感染症患者数と罹患率

対象とする薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数の合計は 15,653 人であった。このうち MRSA は 14,791 人 (94.5%) を占め、次いで PRSP 710 人 (4.5%)、MDRP 143 人 (0.9%)、MDRA 5 人 (0.03%)、VRE 4 人 (0.03%) であった。

各薬剤耐性菌の新規感染症患者数を総入院患者数で除した罹患率は、MRSA では 3.29%、PRSP 0.16%、MDRP 0.03%であった。

なお、VRSA による感染症の報告はなかった。

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

新規感染症患者は男性が多く、薬剤耐性菌別の男女比は、MRSA、PRSP はともに 1.9 : 1、MDRP 2.6 : 1 であった。

### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳

新規感染症患者の年齢分布は、70 歳代以上が全体の 66.6%を占め、高齢者で多く報告された。薬剤耐性菌別では、MRSA、PRSP、MDRP はいずれも高齢者が最も多かったものの、PRSP では 23.7%が 10 歳未満であった。

### 5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳

新規感染症患者において該当する薬剤耐性菌が分離された検体は、呼吸器系検体が 43.5%と最も多くを占め、中でも PRSP は 87.9%が呼吸器系検体であった。MRSA でも同様に呼吸器系検体が 41.5%と最も多かったが、MDRP では尿検体が 37.1%と最も多かった。

### 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳

新規感染症患者の感染症名は、肺炎が最も多く 38.4%を占めた。中でも PRSP では肺炎が 78.6%、肺炎以外の呼吸器感染症が 7.6%であった。MRSA では肺炎が 36.6%と最も多く、次いで菌血症 16.5%、皮膚・軟部組織感染 14.1%、手術創感染 11.4%の順で報告された。MDRP では尿路感染症が 37.1%と最も多く、次いで肺炎が 28.0%であった。



#### 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

新規感染症患者の診療科別割合は、内科系 43.8%、外科系 45.3%、小児科系 3.8%であった。耐性菌別では、MRSA は内科系 43.5%、外科系 46.9%と外科系がやや多く、MDRP は内科系 44.8%、外科系 43.4%と内科系がやや多かった。一方、PRSP は内科系 50.6%、次いで小児科系 23.4%であり、外科系は 12.0%と少なかった。

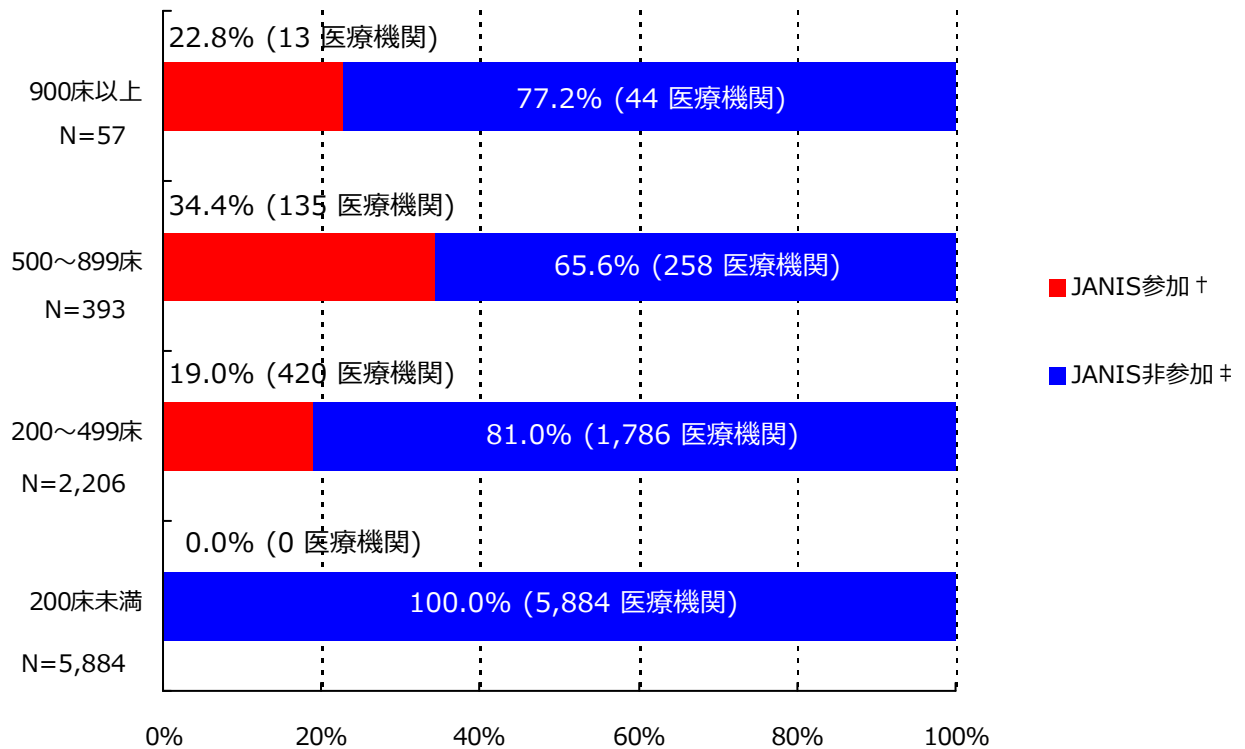
2014 年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の 4 医療機関は集計対象外とした。下記の基準に該当する医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 4 医療機関についても集計から除外した。このため、年報の結果は月報や四半期報の結果とは異なる場合がある。

#### データの精度管理の条件

- 年間を通じて MRSA 感染症患者の報告が無い。
- VISA、VRE、MDRA の報告が年間 1 件以上ある。
- MRSA、MDRP、PRSP の罹患率が高く逸脱している（極値）。

公開情報 2014年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床以上)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 1. データ提出医療機関\*数(568医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2014年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2013年 全国医療機関数¶) - (2014年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2013年 全国医療機関数¶	2014年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	57	13 ( 22.8%)
500～899床	393	135 ( 34.4%)
200～499床	2,206	420 ( 19.0%)
200床未満	5,884	0 ( 0.0%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	8,540	568 ( 6.7%)

¶平成25年医療施設（動態）調査を参照した。

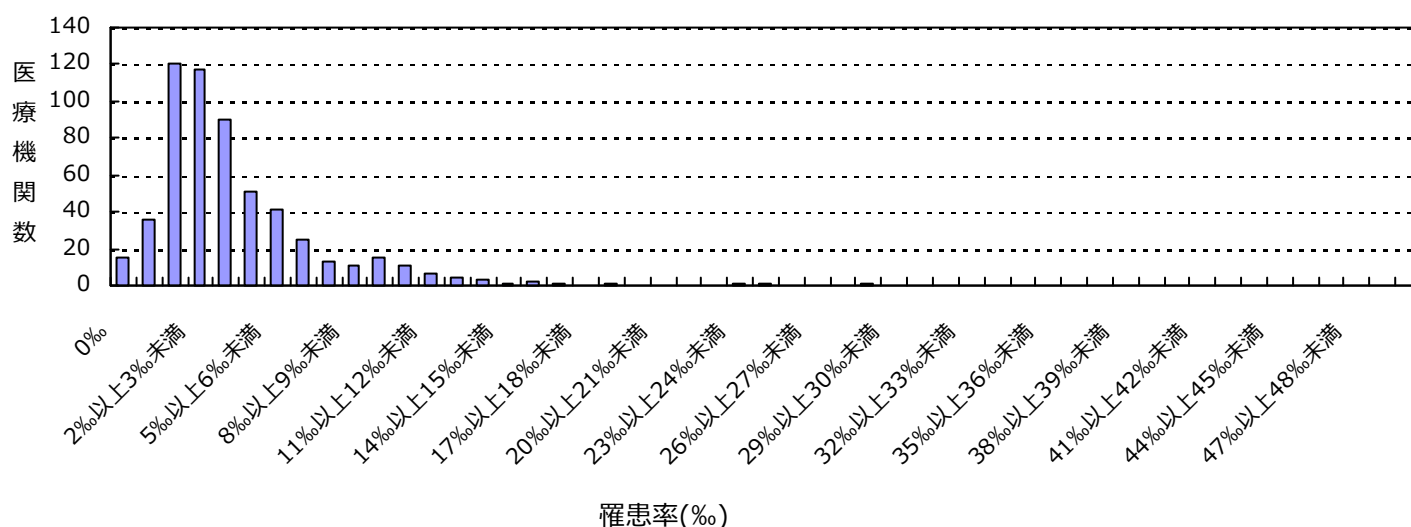
公開情報 2014年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床以上)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	4,502,660	295	14,791	3.29%	0.00 2.92 28.32   中

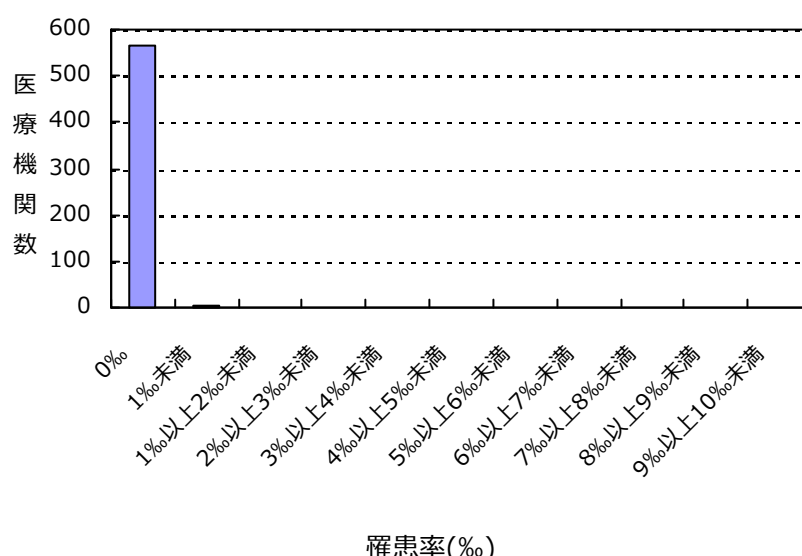
集計対象医療機関の罹患率(N=568)



### バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	4,502,660	0	4	0.00%	0.00 0.00 0.22 

集計対象医療機関の罹患率(N=568)



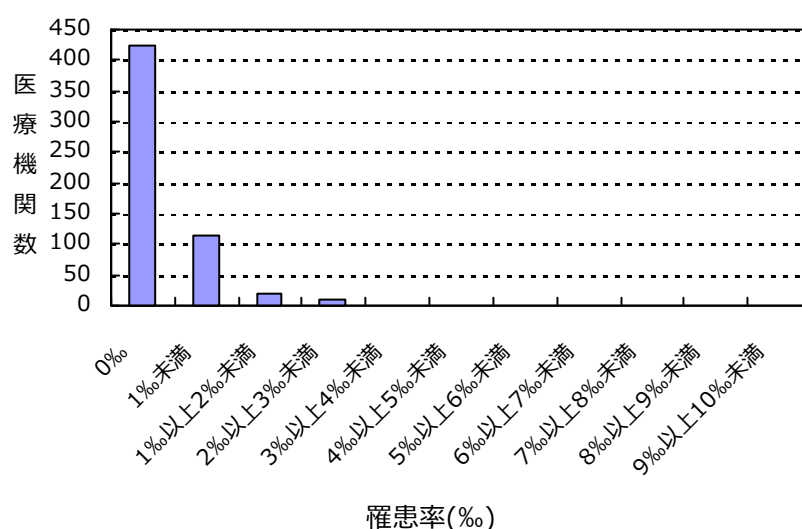
公開情報 2014年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床以上)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	4,502,660	1	710	0.16%	0.00 0.00 3.88  -----

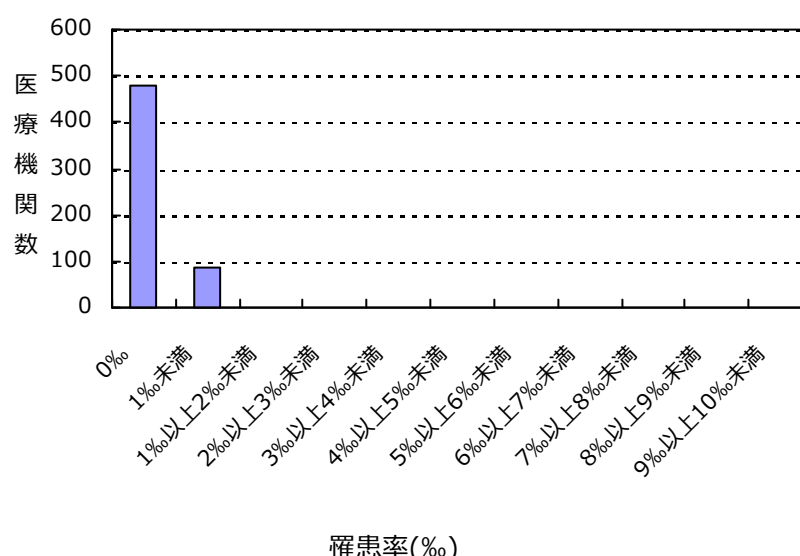
集計対象医療機関の罹患率(N=568)



### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	4,502,660	8	143	0.03%	0.00 0.00 1.31  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=568)

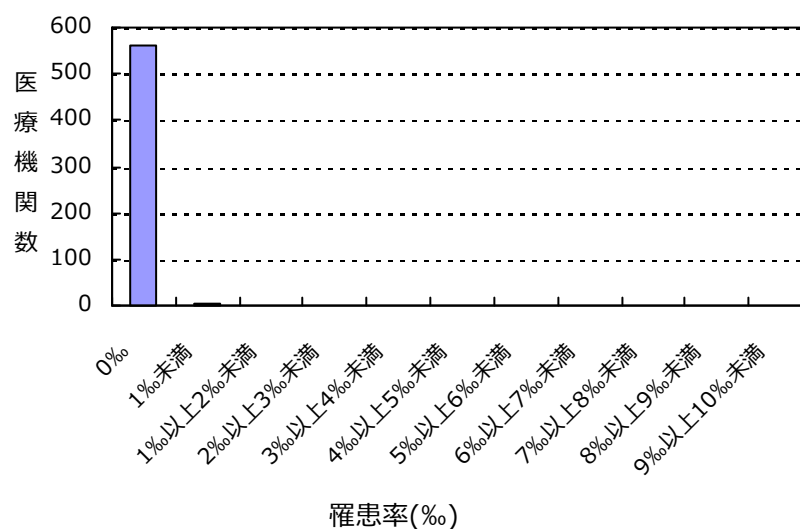


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRA	4,502,660	1	5	0.00‰	0.00 0.00 1.58

集計対象医療機関の罹患率(N=568)



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

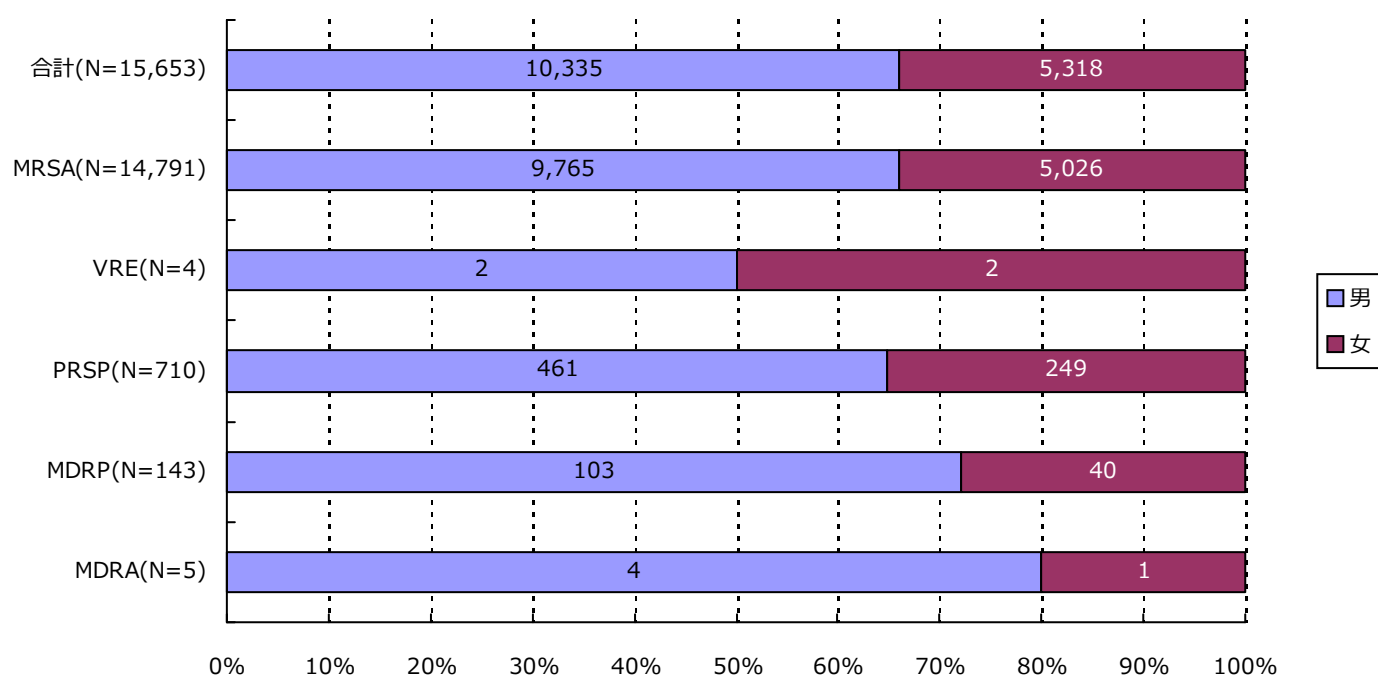
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

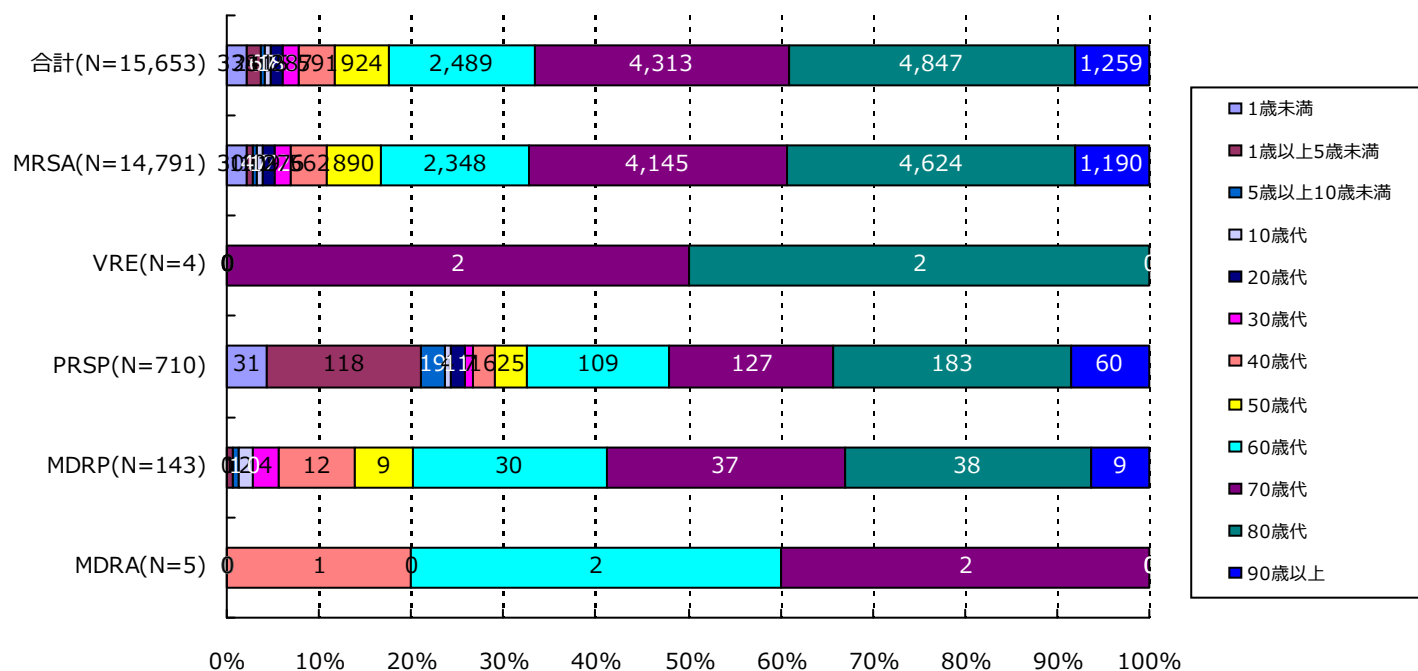


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
男	10,335 ( 66.0%)	9,765 ( 66.0%)	0 ( - )	2 ( 50.0%)	461 ( 64.9%)	103 ( 72.0%)	4 ( 80.0%)
女	5,318 ( 34.0%)	5,026 ( 34.0%)	0 ( - )	2 ( 50.0%)	249 ( 35.1%)	40 ( 28.0%)	1 ( 20.0%)
合計	15,653	14,791	0	4	710	143	5

公開情報 2014年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床以上)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



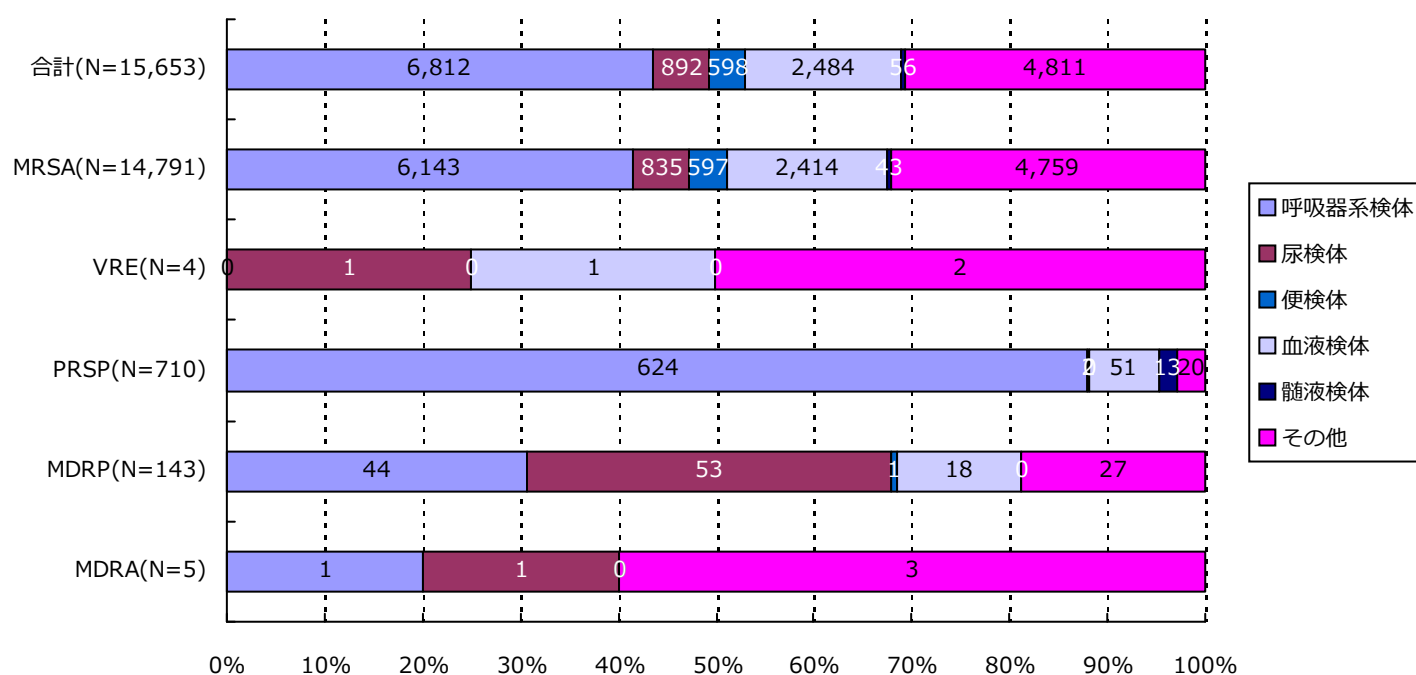
#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
1歳未満	338 ( 2.2%)	307 ( 2.1%)	0 ( -)	0 ( -)	31 ( 4.4%)	0 ( -)	0 ( -)
1歳以上5歳未満	240 ( 1.5%)	121 ( 0.8%)	0 ( -)	0 ( -)	118 ( 16.6%)	1 ( 0.7%)	0 ( -)
5歳以上10歳未満	67 ( 0.4%)	47 ( 0.3%)	0 ( -)	0 ( -)	19 ( 2.7%)	1 ( 0.7%)	0 ( -)
10歳代	115 ( 0.7%)	109 ( 0.7%)	0 ( -)	0 ( -)	4 ( 0.6%)	2 ( 1.4%)	0 ( -)
20歳代	183 ( 1.2%)	172 ( 1.2%)	0 ( -)	0 ( -)	11 ( 1.5%)	0 ( -)	0 ( -)
30歳代	287 ( 1.8%)	276 ( 1.9%)	0 ( -)	0 ( -)	7 ( 1.0%)	4 ( 2.8%)	0 ( -)
40歳代	591 ( 3.8%)	562 ( 3.8%)	0 ( -)	0 ( -)	16 ( 2.3%)	12 ( 8.4%)	1 ( 20.0%)
50歳代	924 ( 5.9%)	890 ( 6.0%)	0 ( -)	0 ( -)	25 ( 3.5%)	9 ( 6.3%)	0 ( -)
60歳代	2,489 ( 15.9%)	2,348 ( 15.9%)	0 ( -)	0 ( -)	109 ( 15.4%)	30 ( 21.0%)	2 ( 40.0%)
70歳代	4,313 ( 27.6%)	4,145 ( 28.0%)	0 ( -)	2 ( 50.0%)	127 ( 17.9%)	37 ( 25.9%)	2 ( 40.0%)
80歳代	4,847 ( 31.0%)	4,624 ( 31.3%)	0 ( -)	2 ( 50.0%)	183 ( 25.8%)	38 ( 26.6%)	0 ( -)
90歳以上	1,259 ( 8.0%)	1,190 ( 8.0%)	0 ( -)	0 ( -)	60 ( 8.5%)	9 ( 6.3%)	0 ( -)
合計	15,653	14,791	0	4	710	143	5



## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳

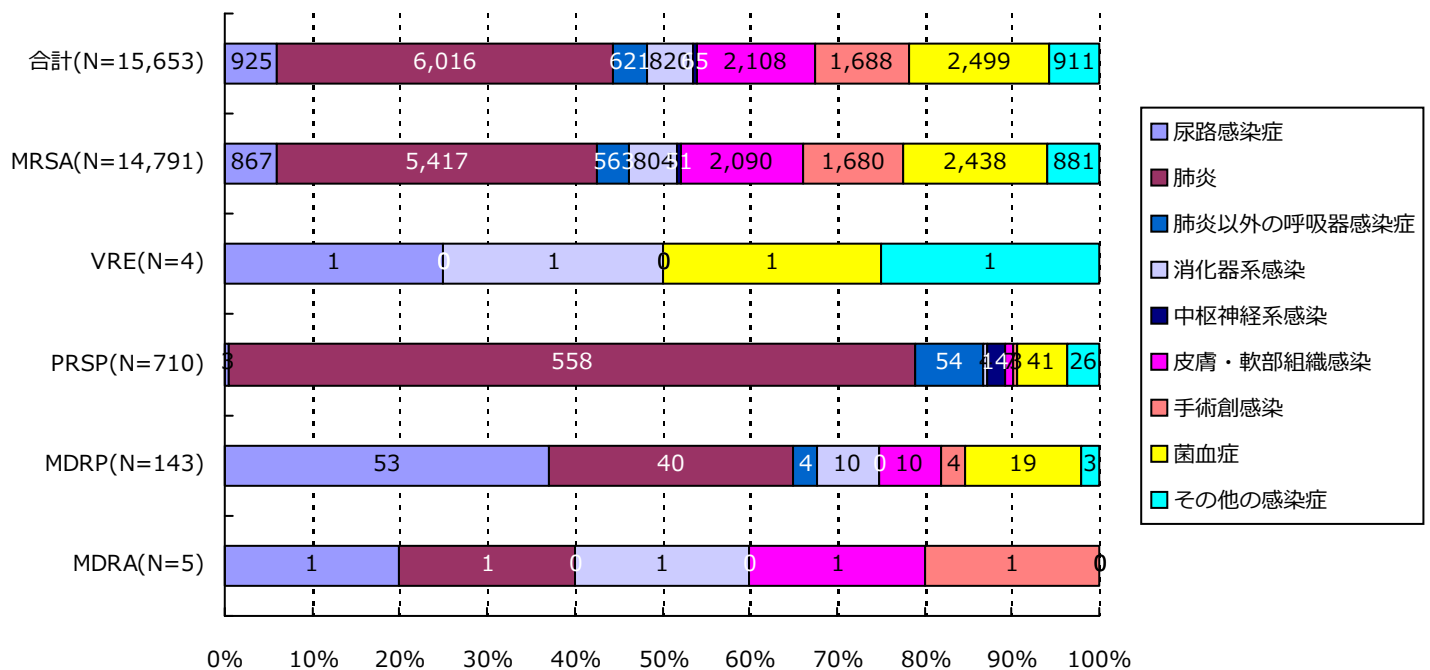


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
呼吸器系	6,812 ( 43.5% )	6,143 ( 41.5% )	0 ( - )	0 ( - )	624 ( 87.9% )	44 ( 30.8% )	1 ( 20.0% )
尿検体	892 ( 5.7% )	835 ( 5.6% )	0 ( - )	1 ( 25.0% )	2 ( 0.3% )	53 ( 37.1% )	1 ( 20.0% )
便検体	598 ( 3.8% )	597 ( 4.0% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 0.7% )	0 ( - )
血液検体	2,484 ( 15.9% )	2,414 ( 16.3% )	0 ( - )	1 ( 25.0% )	51 ( 7.2% )	18 ( 12.6% )	0 ( - )
髄液検体	56 ( 0.4% )	43 ( 0.3% )	0 ( - )	0 ( - )	13 ( 1.8% )	0 ( - )	0 ( - )
その他	4,811 ( 30.7% )	4,759 ( 32.2% )	0 ( - )	2 ( 50.0% )	20 ( 2.8% )	27 ( 18.9% )	3 ( 60.0% )
合計	15,653	14,791	0	4	710	143	5

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

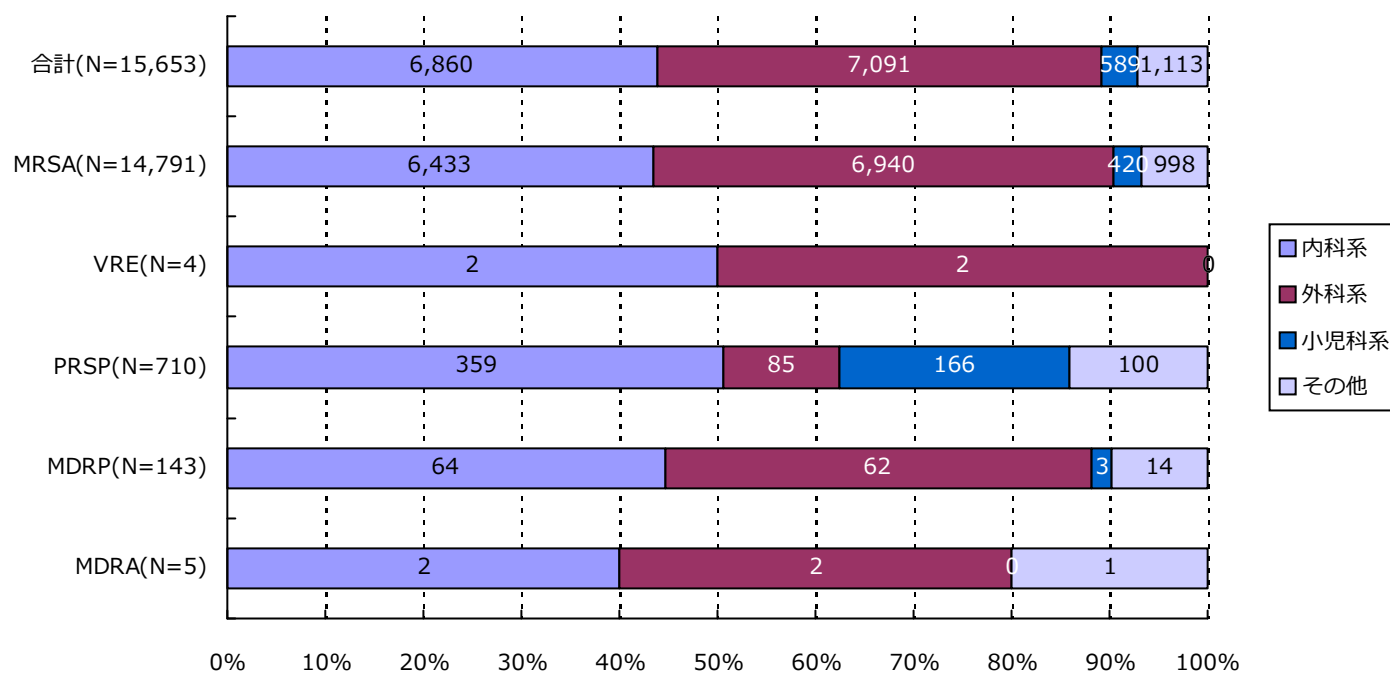
公開情報 2014年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床以上)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
尿路	925 ( 5.9%)	867 ( 5.9%)	0 ( -)	1 ( 25.0%)	3 ( 0.4%)	53 ( 37.1%)	1 ( 20.0%)
肺炎	6,016 ( 38.4%)	5,417 ( 36.6%)	0 ( -)	0 ( -)	558 ( 78.6%)	40 ( 28.0%)	1 ( 20.0%)
肺炎以外	621 ( 4.0%)	563 ( 3.8%)	0 ( -)	0 ( -)	54 ( 7.6%)	4 ( 2.8%)	0 ( -)
消化器系	820 ( 5.2%)	804 ( 5.4%)	0 ( -)	1 ( 25.0%)	4 ( 0.6%)	10 ( 7.0%)	1 ( 20.0%)
中枢神経系	65 ( 0.4%)	51 ( 0.3%)	0 ( -)	0 ( -)	14 ( 2.0%)	0 ( -)	0 ( -)
皮膚・軟部	2,108 ( 13.5%)	2,090 ( 14.1%)	0 ( -)	0 ( -)	7 ( 1.0%)	10 ( 7.0%)	1 ( 20.0%)
手術創	1,688 ( 10.8%)	1,680 ( 11.4%)	0 ( -)	0 ( -)	3 ( 0.4%)	4 ( 2.8%)	1 ( 20.0%)
菌血症	2,499 ( 16.0%)	2,438 ( 16.5%)	0 ( -)	1 ( 25.0%)	41 ( 5.8%)	19 ( 13.3%)	0 ( -)
その他	911 ( 5.8%)	881 ( 6.0%)	0 ( -)	1 ( 25.0%)	26 ( 3.7%)	3 ( 2.1%)	0 ( -)
合計	15,653	14,791	0	4	710	143	5

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
内科系	6,860 ( 43.8%)	6,433 ( 43.5%)	0 ( -)	2 ( 50.0%)	359 ( 50.6%)	64 ( 44.8%)	2 ( 40.0%)
外科系	7,091 ( 45.3%)	6,940 ( 46.9%)	0 ( -)	2 ( 50.0%)	85 ( 12.0%)	62 ( 43.4%)	2 ( 40.0%)
小児科系	589 ( 3.8%)	420 ( 2.8%)	0 ( -)	0 ( -)	166 ( 23.4%)	3 ( 2.1%)	0 ( -)
その他	1,113 ( 7.1%)	998 ( 6.7%)	0 ( -)	0 ( -)	100 ( 14.1%)	14 ( 9.8%)	1 ( 20.0%)
合計	15,653	14,791	0	4	710	143	5

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
精神科		皮膚・泌尿器科		
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
	周産期センター			

## 公開情報 2014 年 1 月～12 月 年報(集計対象医療機関・200 床未満)

## 院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 【全入院患者部門サーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、全入院患者を対象として主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌感染症の発生状況を明らかにすることである。

サーベイランスの対象は、我が国において主要な薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)、多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA) とし、これら 6 種の薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数および罹患率を算出する。また性別、年齢別、検体別、感染症名別、診療科別の集計も行い、医療機関の薬剤耐性菌による感染症発症状況のベンチマークとなる情報を提供する。

## 【図表】

1. データ提出医療機関\*数
2. 新規感染症患者数と罹患率
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

## 【解説】

1. データ提出医療機関数

病床規模が 200 床未満の 2014 年年報 (2014 年 1 月～12 月) 集計対象医療機関数 117 医療機関であった。これは国内 5884 医療機関の 2.0%を占めていた。

## 院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 2. 新規感染症患者数と罹患率

対象とする薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数の合計は 1,340 人であった。このうち MRSA は 1,290 人 (96.3%) を占め、次いで PRSP 32 人 (2.4%)、MDRP 17 人 (1.3%)、VRE 1 人 (0.07%) であった。

各薬剤耐性菌の新規感染症患者数を総入院患者数で除した罹患率は、MRSA では 5.23%、PRSP 0.13%、MDRP 0.07% であった。

なお、MDRA、VRSA による感染症の報告はなかった。

## 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

新規感染症患者は男性が多く、薬剤耐性菌別の男女比は、MRSA では 1.4 : 1、PRSP 1.7 : 1、MDRP 1.8 : 1 であった。

## 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳

新規感染症患者の年齢分布は、70 歳代以上が全体の 83.0% を占め、高齢者で多く報告された。薬剤耐性菌別では、MRSA、PRSP、MDRP はいずれも高齢者が最も多かったものの、PRSP では 12.5% が 10 歳未満であった。

## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳

新規感染症患者において該当する薬剤耐性菌が分離された検体は、呼吸器系検体が 63.8% と最も多くを占め、中でも PRSP は 96.9% が呼吸器系検体であった。MRSA でも同様に呼吸器系検体が 63.3% と最も多かったが、MDRP では尿検体が 47.1% と最も多かった。

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳

新規感染症患者の感染症名は、肺炎が最も多く 58.9% を占めた。中でも PRSP では肺炎が 75.0%、肺炎以外の呼吸器感染症が 18.8% であった。MRSA では肺炎が 58.8% と最も多く、次いで皮膚・軟部組織感染 9.3%、菌血症 8.3%、尿路感染症 5.7% の順で報告された。MDRP では肺炎が 41.2% と最も多く、次いで尿路感染症が 35.3% であった。

## 院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

### 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

新規感染症患者の診療科別割合は、内科系 68.7%、外科系 28.3%、小児科系 0.6%であった。耐性菌別では、MRSA は内科系 68.4%、外科系 29.0%、MDRP は内科系 70.6%、外科系 23.5%、とともに内科系が多かった。一方、PRSP は内科系 78.1%、次いで外科系、小児科系がそれぞれ 3.1%であった。

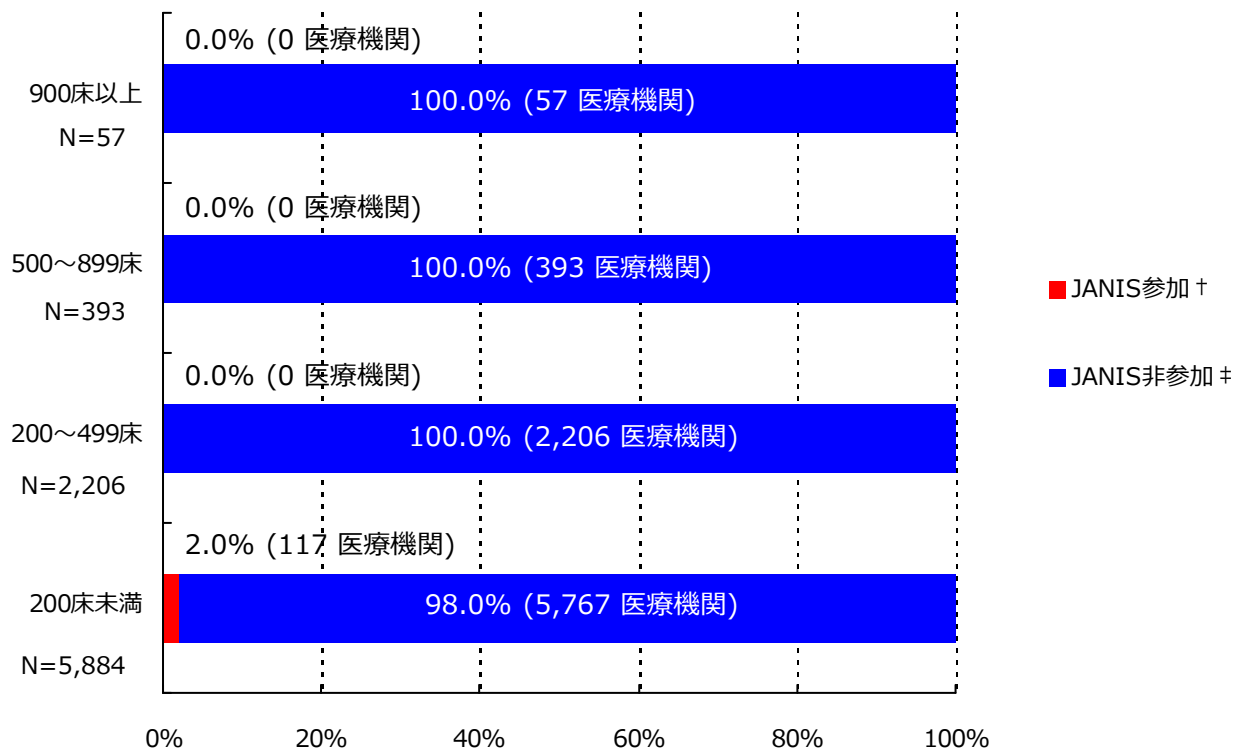
2014 年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の 7 医療機関は集計対象外とした。下記の基準に該当する医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 3 医療機関についても集計から除外した。このため、年報の結果は月報や四半期報の結果とは異なる場合がある。

#### データの精度管理の条件

- 年間を通じて MRSA 感染症患者の報告が無い。
- VISA、VRE、MDRA の報告が年間 1 件以上ある。
- MRSA、MDRP、PRSP の罹患率が高く逸脱している（極値）。

公開情報 2014年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床未満)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

1. データ提出医療機関\*数(117医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2014年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2013年 全国医療機関数¶) - (2014年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2013年 全国医療機関数¶	2014年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	57	0 ( 0.0%)
500～899床	393	0 ( 0.0%)
200～499床	2,206	0 ( 0.0%)
200床未満	5,884	117 ( 2.0%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	8,540	117 ( 1.4%)

¶平成25年医療施設（動態）調査を参照した。



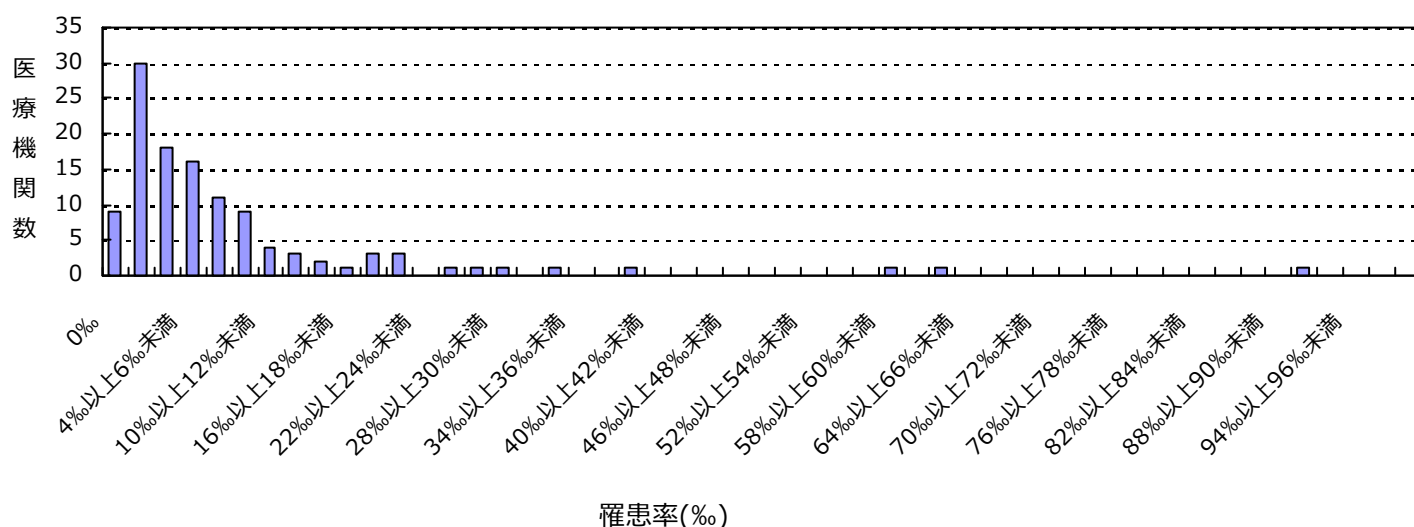
公開情報 2014年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床未満)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	246,520	58	1,290	5.23%	0.00 4.17 90.46  -----

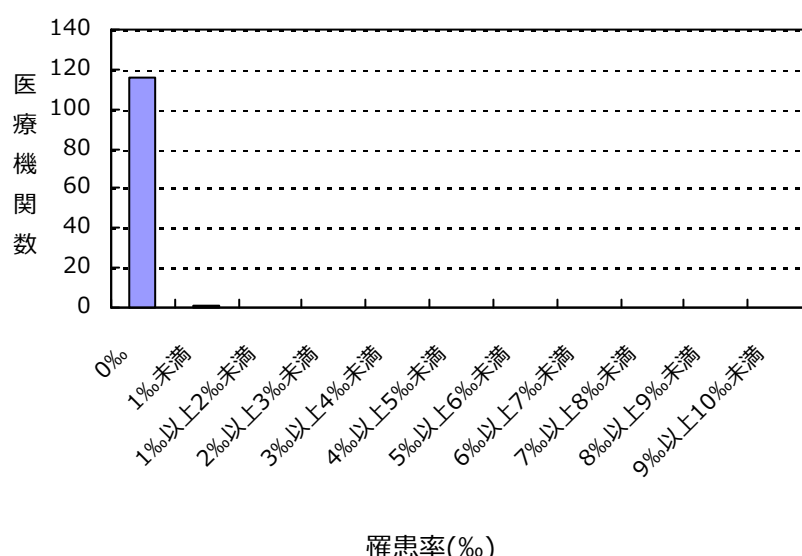
集計対象医療機関の罹患率(N=117)



### バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	246,520	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.52  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=117)



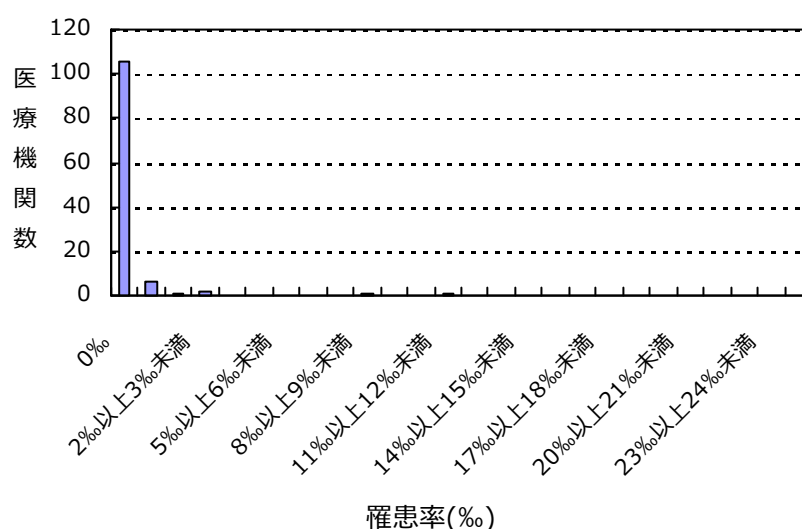
公開情報 2014年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床未満)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	246,520	0	32	0.13%	0.00 0.00 11.05

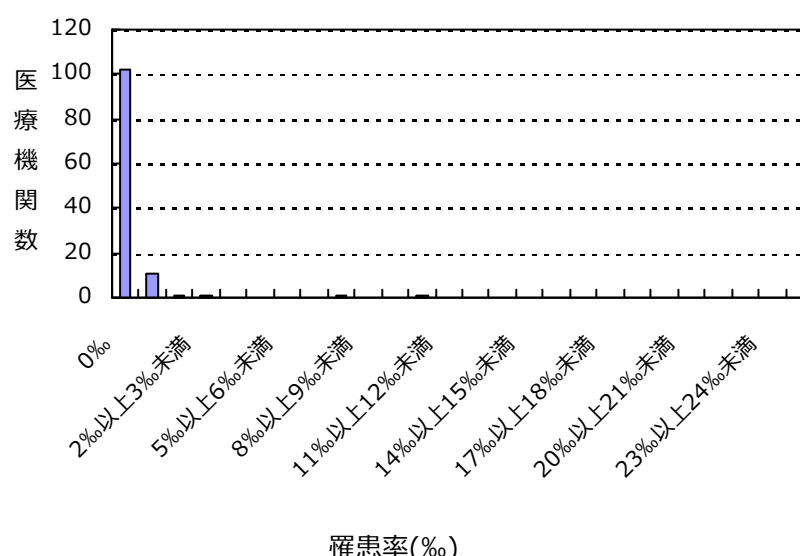
集計対象医療機関の罹患率(N=117)



### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	246,520	0	17	0.07%	0.00 0.00 10.70

集計対象医療機関の罹患率(N=117)



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

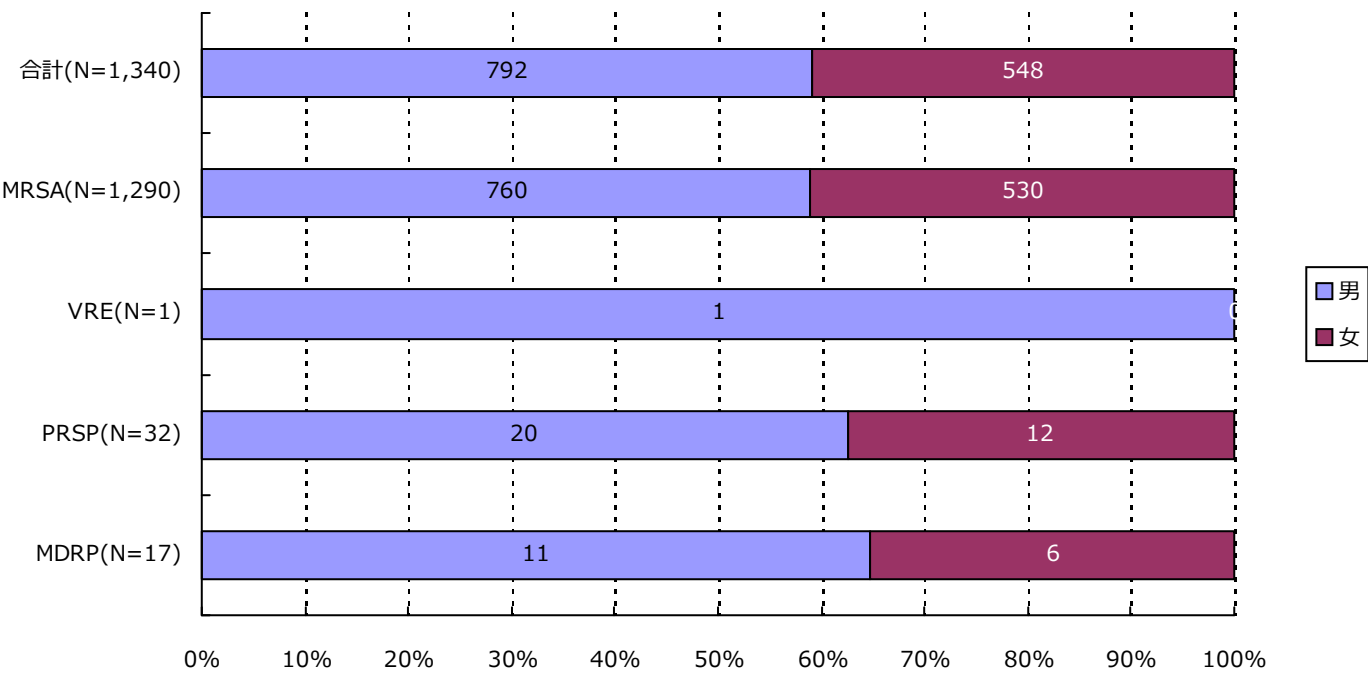
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

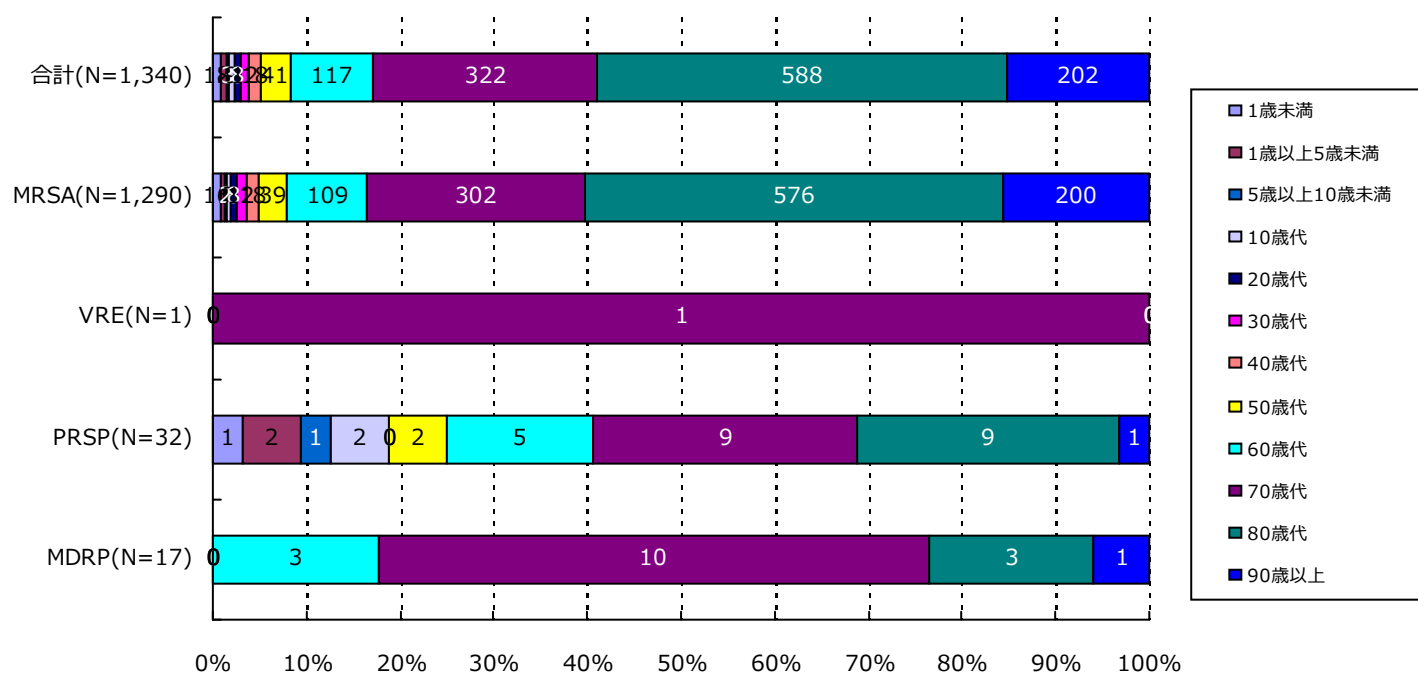


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
男	792 ( 59.1%)	760 ( 58.9%)	0 ( - )	1 ( 100.0%)	20 ( 62.5%)	11 ( 64.7%)	0 ( - )
女	548 ( 40.9%)	530 ( 41.1%)	0 ( - )	0 ( - )	12 ( 37.5%)	6 ( 35.3%)	0 ( - )
合計	1,340	1,290	0	1	32	17	0

公開情報 2014年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床未満)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

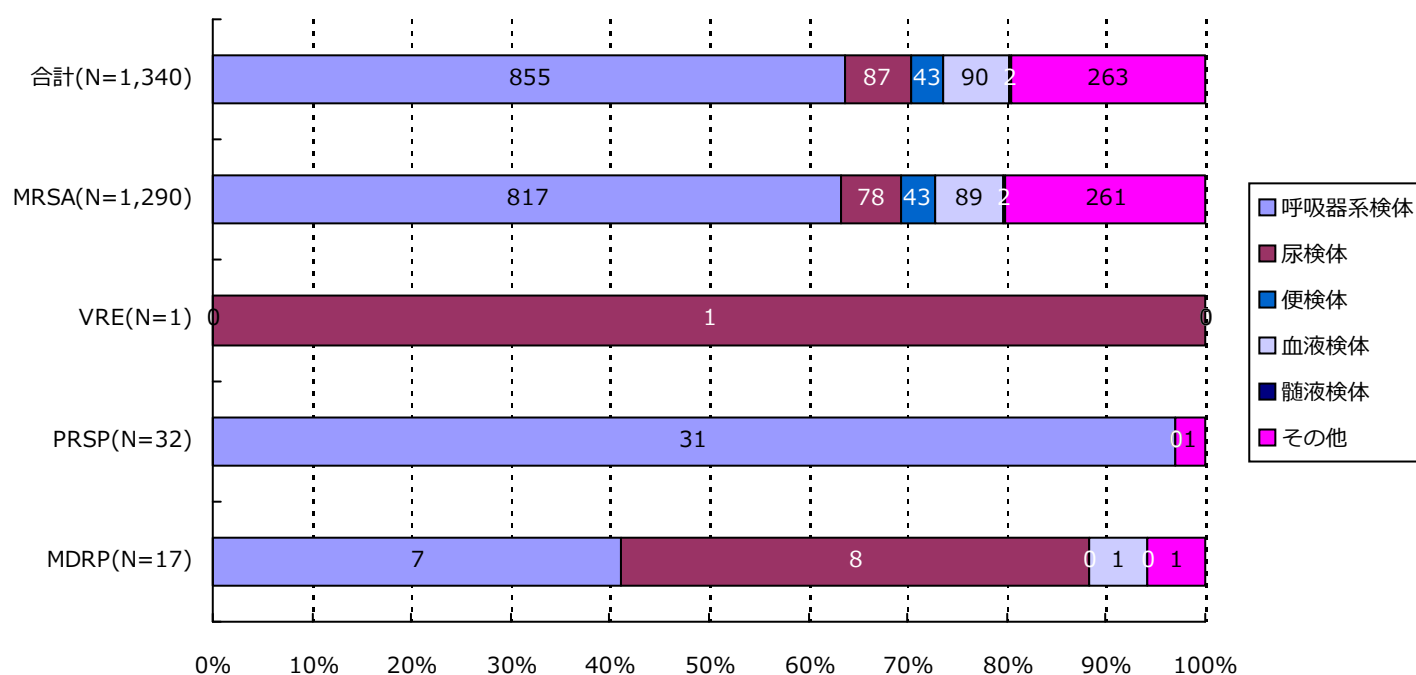


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
1歳未満	12 ( 0.9%)	11 ( 0.9%)	0 ( -)	0 ( -)	1 ( 3.1%)	0 ( -)	0 ( -)
1歳以上5歳未満	8 ( 0.6%)	6 ( 0.5%)	0 ( -)	0 ( -)	2 ( 6.3%)	0 ( -)	0 ( -)
5歳以上10歳未満	3 ( 0.2%)	2 ( 0.2%)	0 ( -)	0 ( -)	1 ( 3.1%)	0 ( -)	0 ( -)
10歳代	9 ( 0.7%)	7 ( 0.5%)	0 ( -)	0 ( -)	2 ( 6.3%)	0 ( -)	0 ( -)
20歳代	8 ( 0.6%)	8 ( 0.6%)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)
30歳代	12 ( 0.9%)	12 ( 0.9%)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)
40歳代	18 ( 1.3%)	18 ( 1.4%)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)
50歳代	41 ( 3.1%)	39 ( 3.0%)	0 ( -)	0 ( -)	2 ( 6.3%)	0 ( -)	0 ( -)
60歳代	117 ( 8.7%)	109 ( 8.4%)	0 ( -)	0 ( -)	5 ( 15.6%)	3 ( 17.6%)	0 ( -)
70歳代	322 ( 24.0%)	302 ( 23.4%)	0 ( -)	1 ( 100.0%)	9 ( 28.1%)	10 ( 58.8%)	0 ( -)
80歳代	588 ( 43.9%)	576 ( 44.7%)	0 ( -)	0 ( -)	9 ( 28.1%)	3 ( 17.6%)	0 ( -)
90歳以上	202 ( 15.1%)	200 ( 15.5%)	0 ( -)	0 ( -)	1 ( 3.1%)	1 ( 5.9%)	0 ( -)
合計	1,340	1,290	0	1	32	17	0

## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳

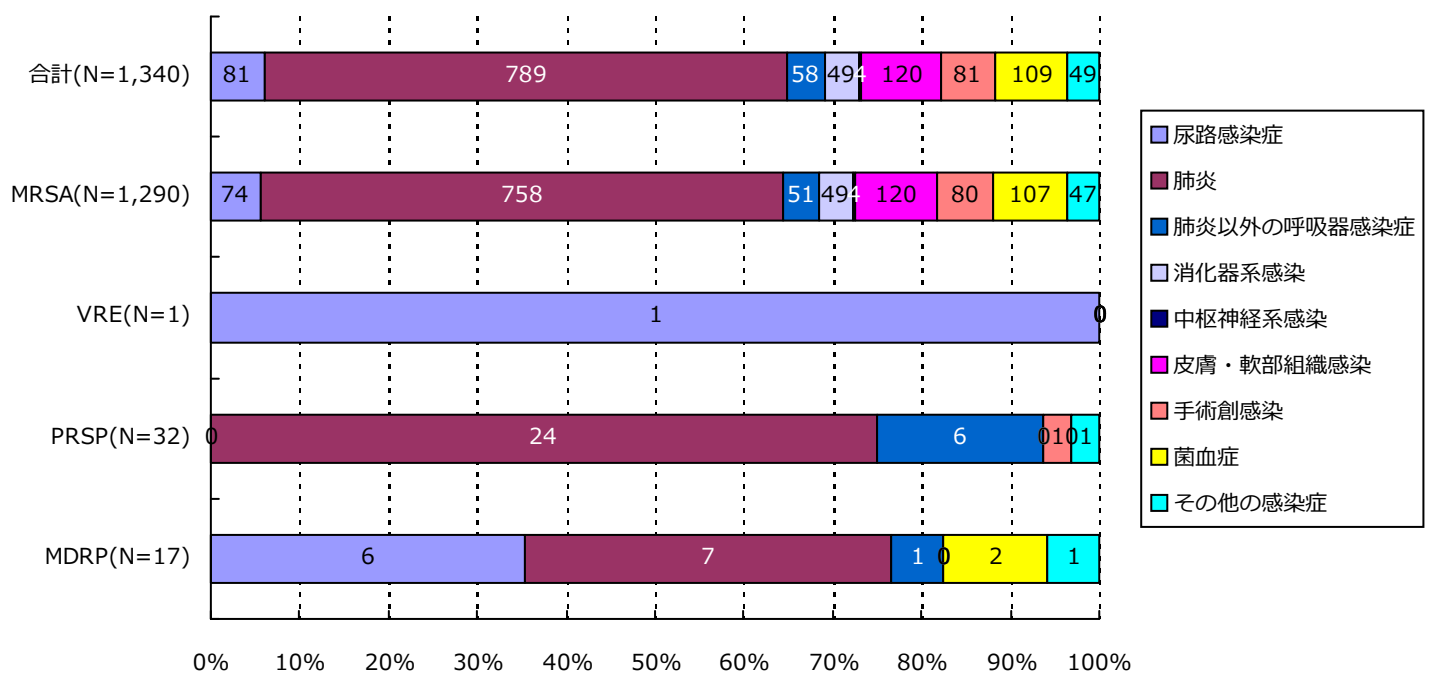


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
呼吸器系	855 ( 63.8% )	817 ( 63.3% )	0 ( - )	0 ( - )	31 ( 96.9% )	7 ( 41.2% )	0 ( - )
尿検体	87 ( 6.5% )	78 ( 6.0% )	0 ( - )	1 ( 100.0% )	0 ( - )	8 ( 47.1% )	0 ( - )
便検体	43 ( 3.2% )	43 ( 3.3% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
血液検体	90 ( 6.7% )	89 ( 6.9% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 5.9% )	0 ( - )
髄液検体	2 ( 0.1% )	2 ( 0.2% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
その他	263 ( 19.6% )	261 ( 20.2% )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 3.1% )	1 ( 5.9% )	0 ( - )
合計	1,340	1,290	0	1	32	17	0

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

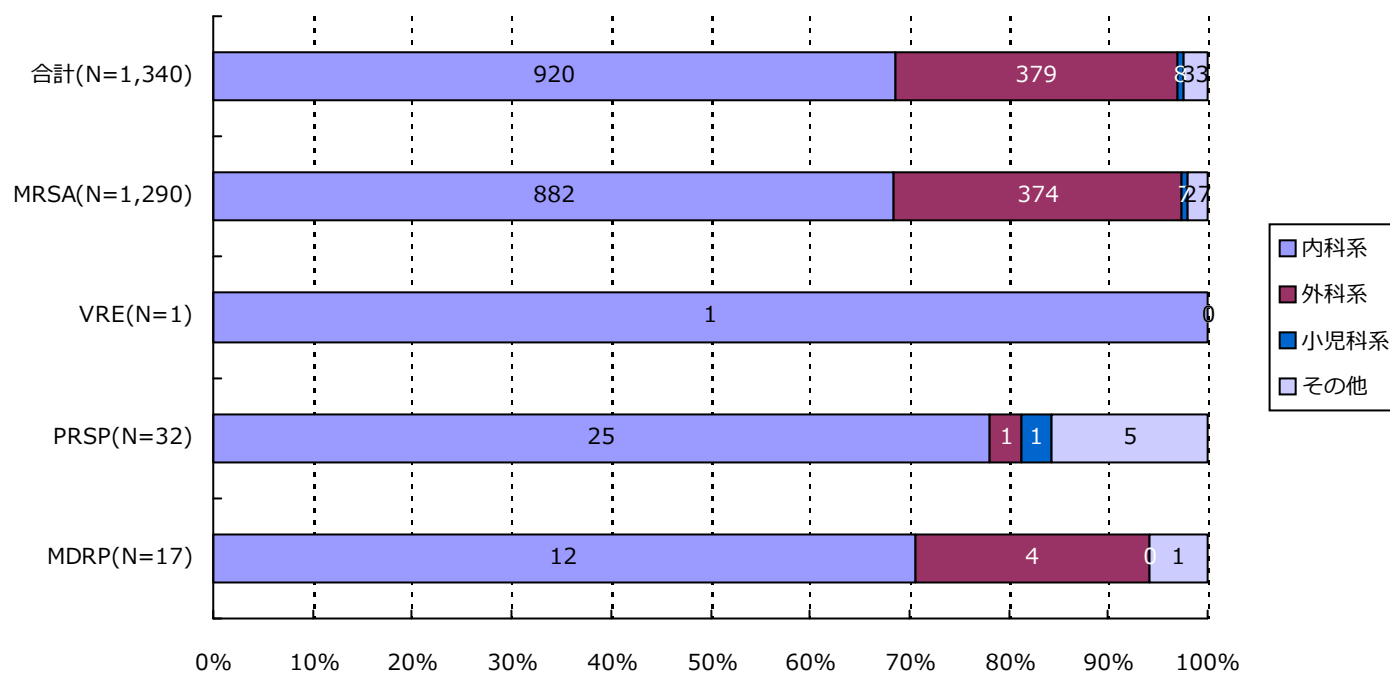
公開情報 2014年1月～12月 年報(集計対象医療機関・200床未満)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
尿路	81 ( 6.0%)	74 ( 5.7%)	0 ( -)	1 ( 100.0%)	0 ( -)	6 ( 35.3%)	0 ( -)
肺炎	789 ( 58.9%)	758 ( 58.8%)	0 ( -)	0 ( -)	24 ( 75.0%)	7 ( 41.2%)	0 ( -)
肺炎以外	58 ( 4.3%)	51 ( 4.0%)	0 ( -)	0 ( -)	6 ( 18.8%)	1 ( 5.9%)	0 ( -)
消化器系	49 ( 3.7%)	49 ( 3.8%)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)
中枢神経系	4 ( 0.3%)	4 ( 0.3%)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)
皮膚・軟部	120 ( 9.0%)	120 ( 9.3%)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)
手術創	81 ( 6.0%)	80 ( 6.2%)	0 ( -)	0 ( -)	1 ( 3.1%)	0 ( -)	0 ( -)
菌血症	109 ( 8.1%)	107 ( 8.3%)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	2 ( 11.8%)	0 ( -)
その他	49 ( 3.7%)	47 ( 3.6%)	0 ( -)	0 ( -)	1 ( 3.1%)	1 ( 5.9%)	0 ( -)
合計	1,340	1,290	0	1	32	17	0

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA
内科系	920 ( 68.7%)	882 ( 68.4%)	0 ( -)	1 ( 100.0%)	25 ( 78.1%)	12 ( 70.6%)	0 ( -)
外科系	379 ( 28.3%)	374 ( 29.0%)	0 ( -)	0 ( -)	1 ( 3.1%)	4 ( 23.5%)	0 ( -)
小児科系	8 ( 0.6%)	7 ( 0.5%)	0 ( -)	0 ( -)	1 ( 3.1%)	0 ( -)	0 ( -)
その他	33 ( 2.5%)	27 ( 2.1%)	0 ( -)	0 ( -)	5 ( 15.6%)	1 ( 5.9%)	0 ( -)
合計	1,340	1,290	0	1	32	17	0

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照



・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	
	循環器内科	
	神経内科	
	呼吸器内科	
	消化器内科	
	胃腸科	
	内分泌・代謝内科	
	腎臓内科	
	糖尿病内科	
	アレルギー・膠原病内科	
	膠原病内科	
	アレルギー内科	
	リウマチ内科	
	血液内科	
	感染症内科	
	老人内科	
	心療内科	
	その他	性病科
		神経科
精神科		
放射線科		
総合診療部		
救急部		
救急・集中治療部		
集中治療部(ICU)		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		
内視鏡科		
透析科		
理学療法・リハビリテーション科		
理学療法科		
リハビリテーション科		
麻酔科		
その他		

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
歯科口腔外科	
小児科系	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	